



とつか

2021年7月会報 第321号

- 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea)
- 2021 主 題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
 スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊敬で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
- ~ 主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100年を越えて変革しよう」
 スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
- 東日本区理事(RD) 大久保 知宏 (宇都宮)
- 主 題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」 “Think for the next generation.”
- 2022 スローガン 「絆を深める時」 “We are stronger together than we are alone.”
- 湘南・沖縄部部长(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
- 主 題 「咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～」
- 主 題 クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 吉原 訓 書記 加藤利榮 会計 岡 進 ネット 吉原和子 担当主事 瀬戸俊孝

会員ひと言 ☆会長と部長の兼務です☆ 若木 一美



今期7回目！の会長を務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。併せて湘南・沖縄部の部長も務めますが、部長・会長を兼務するのは部始まって以来となります。こちらへのご支援も併せてお願いいたします。

◎今月の聖句◎

神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということをやったことは知っています。 - ローマの信徒への手紙5章28節 -
 主は、この弱きわたしたちに慰めと勇気と希望を与えてくださっています。この愛の御言葉、正に今、ワイズ年度が新しくなり、スタートに相応しい言葉です。‘共に働く’は、ワイズ活動の源にほかにありません。

昨年度は何も出来ずに一年終わりましたが、理解不能なのは‘五輪’をめぐる対応です。国民には自粛しろと言う一方で聖火リレー、本県でも多額の県費を費消して6月末に実施されました。また北海道では都市境を越えて、多くの関係者がマラソン大会に結集しました。専門家はPandemicと呼んでいますが、「世界的に流行している病気」があるのに、「平和の祭典」「スポーツの力」とは一体何でしょうか？行政関係の人に聞いた処、同様の多くの意見が寄せられているそうです。それでも……???

沖縄クラブは6月25日、沖縄那覇クラブは6月30日、それぞれ解散し、沖縄クラブは翌26日に西日本区へ所属する設立総会を開催するとのこと、また、東日本区は一般社団法人となる手続きに入る予定で、順風万帆に出航し、来年6月、無事に帰港できますよう部・クラブともお力添えのほどを宜しくお願い申し上げます。

キックオフ
強調月間 Change ! 2022
P R

ワイズの年度始め、コロナ禍で過した前年度に比べ、今期こそは…との期待感も去来します。
 また、ワイズ設立百周年を1年後に控え、会長も言われるように、本年は東日本区が社団法人化されることが予測されます。この画期的な組織が発足するに至るまでの関係者の並々な熱意と努力がありました。改めて、心からの敬意と感謝を申し上げます。
 そしてもう一つ、**Change ! 2022** の最終年です！

会員数	6月・中止		出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOP・	B A P Y	ロ	バ
メ ン	12	メ ン	0	他	(円)		(g)		A S F	(円)		(円)
メネット	9	メネット	0	前月迄		0		0		0		0
		ゲストら	0	当 月		0		0		0		0
計	21	合 計	0	累 計		0		0		0		0

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★

☆学童サッカー大会から☆

6月6日(日)・YMCA 誕生の日、朝からツユを思わせるお天気ながら「本日決行」のメール、会場の「逗子・池子の森自然公園大運動場」へと吉原カーで向かいました。

13時の開会式も既に終わり、折からの雨にもめげず、第1試合の真っ最中、応援のご父兄や私たちの仲間は傘を差しての声援、早速、YMCA ビブスを受け取り、先に到着



の浦出ワイズのお隣に…。鎌倉からは池田会長・千葉・兵藤・吉田の皆さん、担当主事の瀬戸さんと三上さんは試合の運営・指導に大忙しの様子。14:00、第2試合に掛かる頃から雨も上がっては来たものの、グラウンドの芝生は濡れて重い感じ…。「湘南とつか学童クラブ」と「かまくらっ子スクール」3,4年生を中心とする12名ずつのチーム編成、懸命のボール運びが中々得点に繋がらず、結果として、とつかはかまくらに勝ちを譲りました。

例年、鎌倉クラブと合同支援しているこの種のイベント、今回は、コロナ禍の中、YMCA サッカーキッズにとっては貴重なひと時になったと思います。瀬戸主事によれば、試合は個々のメンバーの練習の成果が発揮される機会が多く見られ、良いプレーが出ていました、試合に参加し学んだことを今後の成長に活かすよう、ムリせず頑張ってください…。

副会長 吉原 訓・書記 加藤 利榮 (共同執筆)

また、鎌倉の三上さんからは、皆、周りをよく見て、自分たちでポジショニングも考えてプレーしました。パスが繋がってシュートを決める場面も見られました。本日の試合を終えてこれから活かしていきたいことは「ボールを止め・蹴る～このことを丁寧に行う。」「パスの出し方、受け方をイメージしてプレーする。」「ボールを持っていないときの動き方を練習で取り組んでいきましょう!」…と。

14:40、すべての日程を終え閉会式に…。閉会挨拶は、吉原ワイズ。「お天気の良くないスタートでしたが徐々に回復、無事終了しました。皆さんの元気で一生懸命なプレー姿が見られ、大変うれしかったです。鎌倉ととつか両クラブは今後もYMCAの事業に協力してまいります。今年はSDGsの理解を深める大会でもありました。自分の家では何が出来るかを、お配りした冊子を参考に、みんなで考えましょう。今日は有り難うございました。」



☆第90回Y-Y's協議会から☆ 若木 一美

会は6月1日(火)19時から、つるみクラブの担当によりオンラインで開催され、次の事業が紹介されました。

- ◎ YVLF(ユースボランティア・リーダーズフォーラム)は横浜YMCA 主管により9/10~12・オンライン開催を予定している。
- ◎ 鎌倉・とつか両クラブ協賛により、逗子・池子公園において学童サッカー大会が開催される。(別記)
- ◎ 厚木クラブからは、オベリン保育園がフード・ドライブを計画中。
- ◎ 金沢八景では、落語を計画中。
- ◎ 北YMCAでは、コンサートやバザーを計画中。

そのほか、8月のエイズ文化フォーラムは、今年度は本郷台駅前の地球市民プラザにおいてオンライン併用で開催、また10月のチャリティーランは状況を見ながら計画を進める、スピーチコンテストも同様に状況により開催する旨の報告・説明がありました。

クラブ報告では、COVID-19の影響で、オンライン開催や中止にしている等、クラブも苦戦しているようでした。

この協議会もオンライン、加藤さん、瀬戸さんと私の3人、とつかY404号での参加でした。



☆第4回湘南・沖縄部評議会から☆ 若木 一美

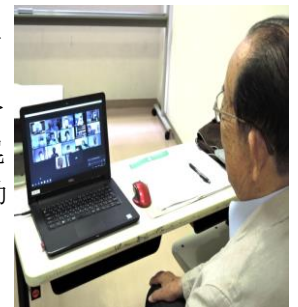
会は6月19日(土)15時から、古田部長最後となる会合がオンラインで開催され、中央YMCA 礼拝堂には古田・伊藤・峯尾・若木の4名と安部・青木のYMCA スタッフ、他の参加者はいずれもオンラインでの参加となりました。

本日の提案議案、報告事項とも各6件です。

先ず、①沖縄那覇クラブ解散の件では、6月1日付クラブ会長から今月末日をもって解散する旨の届け出があり、玉城会長から補足説明があって審議に入り、出席者総意の意見として、解散やむを得ない、あるいは55年の歴史などから「解散」でなく「休会」では…等の意見も出て、採決の結果、僅差で解散が承認されました。②次年度部長方針と事業計画が提案され、原案通り可決されました。③今期中間決算が報告され、次回評議会までに決算報告することで承認。④次期予算は、次回評議会ですということで取り下げ。⑤監事は引き続き峯尾さんに、また国際・交流主査は次回までに選考することを条件に承認された。⑥沖縄部の独立に関する意見が鈴木茂ワイズから提案され、意見も出されましたが、結論的には今後の推移を見て検討することとなりました。

引き続き、報告事項は、閉会の定刻を過ぎていた関係で、簡潔に終わり、峯尾監事から1年間のねぎらいと今後の活動への期待が述べられ、閉会しました。

皆さま、お疲れ様でした。



【緑陰随想】

☆この1年のお支えに感謝して☆

直前部長 古田 和彦 (横浜クラブ)



去る6月19日に2020-2021年度第4回評議会を終え、ほぼ年度の業務を終えることができました。顧みますと、昨年7月部長に就任しましたが、新型コロナウイルスの蔓延が収まらず、部の運営もどのようにしてよいか右往左往の毎日でした。その中であって、貴クラブを皮切りに部長として湘南地区7クラブの公式訪問をリアルで行うことができ、それぞれのクラブの特徴や働きについて勉強させていただくことができました。いったん、昨年夏以降暫らくコロナも下火になり、部評議会や部大会も皆さん集まって開催することができたことは、今考えますと大変ラッキーだったと思います。特に、部大会では、とつかの皆さまのご協力で、湘南とつかYMCAを使わせていただき、運営にも大いにお世話になりました。有り難うございました。

後半は、例会や評議会などはZOOMを使用することが定着し、この年度の新しい会議の持ち方が出てきました。共に集まり、懇親の時を持たないことは、ワイズメンとしては誠に残念でしたが、一方、遠距離からクラブ例会や評議会にZOOM参加される方も多く出てきて、今後の運営にも大変参考になる成果とも言えると思います。

残念なことは、沖縄の2クラブが相次いで湘南・沖縄部から去っていったことでした。特に、沖縄那覇クラブは55年もの間、共に歩んだ仲間であり、部長としての力が足りず、このような結果となってしまいました。しかし、沖縄那覇クラブの皆さんは、クラブ解散後も沖縄YMCAへの奉仕活動は継続するとのことですので、いつの日か、またワイズに復帰することを願い、温かく見守っていきたいと存じます。

ともあれ、皆さまの温かいお支えと励ましで任期を全うできましたことに、心から感謝し、御礼申し上げます。

(古田和彦様、お忙しい中 心温まるご寄稿を賜り有り難うございます。)

レザン通信



横浜YMCAワークサポートセンターレザン 相馬 良文

カフェレザンでは、昨年の6月1日に1回目の緊急事態宣言解除から、カフェを新しい生活様式に合わせて運営しています。今や常連となられたお客様やYMCAスタッフら皆さまへのお弁当の提供に支えられていることに、大いに感謝しております。



6月21日(月)から、神奈川県のコロナ対策支援を受け、「アクリル板」を設置しました。これにより、対面でのお食事を開始することができるようになりました。お友達やお知り合いなどのお仲間とお食事を安心して楽しみいただけるよう、準備が整いました。

どうぞ皆様、お揃いでお出掛けください。 ☎ 045-860-5252

☆YMCA 東山荘だより☆

施設長 森田 義彦



2020年4月より新たな気持ちで御殿場の地を踏みました。横浜の埠頭にダイヤモンドプリンセス号が停泊している時は対岸の火事意識でした。年度が替わるころ、宿泊辞退が続出し、振り返れば東山荘開設以来の惨事

となりました。人影の少なくなった東山荘を小鳥などの小動物が訪問してくれ、荘のいつもと違う姿を見せてくれました。利用者は1/6~7で例年の5千人に届きませんでした。収支の厳しい状況にもかかわらず、多くの方々

のお支えを頂きました。「東山荘、大丈夫か?」「今までで一番厳しいだろうが、頑張っ…!」等々の暖かな声援にスタッフ一同、大いに励まされ勇気付けられました。宿泊利用者が減少する中、地域活動に注力し、夏には荘内プログラムを数多く実施し、市民の皆さんに来荘いただき、子どもたちの元気な声が響き渡りました。(写真は荘玄関口)

特に、御殿場ワイズメンズクラブのご支援により、市内小中学校全校に「コロナウィルス予防啓発本」を作成・配付したり、御殿場ロータリークラブのご協力でピンクシャツデーのチラシを配布するなどの活動も行いました。また、子ども食堂を開いているグループと協力して、東山荘で‘子ども食堂’を開催したり、御殿場フードバンクの立ち上げに関わるなどの活動も行いました。

一方、感染症対策として消毒の徹底やシールドの設置を行い、また‘3密回避’のお願いを呼び掛けるなどして、お客様に安心感を持っていただき、中には「学校や職場にいるより東山荘で過ごす方が安心・安全だ…」とお声も頂くことができました。

横浜とつかワイズメンズクラブの皆さま、是非、オープンエアーの東山荘で‘密’を回避し、長期のご滞在をお楽しみいただければ…と思います。

美味しい食事、温泉のご案内、霊峰富士の麓の散策、心と身体を癒やしてください、心のふるさと東山荘で…。



～ワークボランティア活動中の御殿場Ysの皆さんと～



☆ひとりひとりの生命を大切に☆



クラブ担当主事 瀬戸 俊孝

私たち YMCA では、神から与えられたすべての生命を大切にしています。特にスイミングクラスは、この掛け替えない生命を守り・育むことを目的に、毎年6月から9月に掛けてウォーターセーフティ・キャンペーン（水上安全キャンペーン）を実施しています。

毎年、多くの方が水難事故で亡くなっている現実を少しでも改善できるように、そして溺れている人や倒れている人を見つけた時にどうしたらよいか？…もしもの時に正しい行動ができるような人を育てるために、着衣泳と心肺蘇生法のやり方を中心に、会員だけでなく、地域の小学校や教員などに向けて指導をしています。昨年に引き続きコロナ禍の中でできる活動を…ということで、対面のリアルな体験会や講習会は最小限に抑えて、ホームページ上で動画等での配信もしています。

先日、人数を限定して体験会を YMCA で行いました(写真)。

今年は、夏休み期間中にも追加して企画中です。地域の方、YMCA に関わる方々が水難事故に遭わないように正しい知識と技術をこれからも伝え続けたいと思います。



☆今月の歳時記から☆

‘睡蓮 すいれん’ と ‘風鈴 ふうりん’

‘すいれん’、池や沼に自生する。栽培品も多い。七月頃、七、八センチの蓮に似た美しい白い花を開く。花色は白・黄・赤など種々で、清らかな感じである。朝露を含んで開き、夕べには静かに花を閉じるので、この名がある。また、未草（ひつじぐさ）の別名がある。

雨意迫り来ぬ睡蓮の池暗く	虚 子
一ならび睡蓮の葉の吹かれたつ	立 子
睡蓮を出て一本の鯉となる	養 三

次に‘ふうりん’、風鈴の音は、夏には欠かせぬ風物詩である。家の軒や窓などに吊ると、風が通るたびに涼しく鳴る。風鈴は鐘形又は壺形の金属、ガラス、陶器でできており、内部に舌があり、短冊などを吊り下げる。金属製のものは、その音色により、鈴虫、松虫などと呼ばれる。

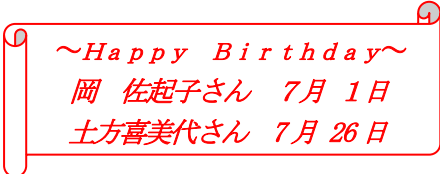
風鈴に大きな月のかゝりけり	虚 子
風鈴の鳴らねば淋し鳴れば憂し	木竹居

一七



☆7月・8月のこよみ☆

- >7/3 (土) 第1例会・総会：湘南とつかYMCA・17:00
- >7/20 (火) 第2例会・事務会：同
- >8/7 (土) 第1例会・夏休み休会
- >8/17 (火) 第2例会・事務会：湘南とつかYMCA・17:00



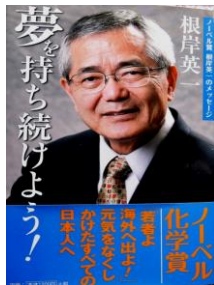
【掲示板】 会 長

◎ ‘7, 8月のこよみ’ について
 開催の可否などにつきましては、連絡網により瀬戸担当主事から、その都度連絡します。

◎ 今期、東日本区より以下の賞を頂きました。
 ～「20-21 東日本区表彰一覧」から～

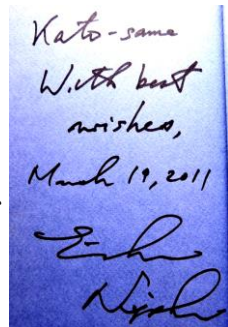
- ★ 理事表彰： **ブリテン最優秀賞**
 一表彰理由—
 毎回、多くのメンバーが寄稿に参加、ブリテンを通してクラブ内のコミュニケーションが図られています。発行の時間厳守が速やかに行われています。
- ★ 地域奉仕事業： **ASF 献金貢献賞 (1位)**
- ★ その他： **ロースター広告協力賞**

◎ 根岸英一さんの思い出：この項は加藤ワイズから



2010年にノーベル化学賞を受賞された根岸英一さんが、先ごろ6月12日、体調を崩し亡くなられたと、仕事先の米国・パデュー(Purdue)大学から発表がありました(享年85歳)。

この‘夢を持ち続けよう！’の本は、下のサインにもあるように、今から10年前の2011年3月19日、彼の講演を横浜関内ホールで聴き、その際にサインして頂いたものです。この年の僅か8日前の3月11日には、東日本大震災があって、講演会どころではなかったのですが、会場の建物は安全ということと、チョットしたご縁での参加でした。年輩的には、私より5年ほど若く、また今から2年ほど前には奥様を事故でお亡くしになっておられ、案じていたさ中の出来事で、残念でなりません。関内ホールでの晴れやかな笑顔と、もろ手での固い握手の感触が今更ながら甦ってきます…。



(後記)

愈々オリンピックの月に…、そしてワイズ年度の初めに…

Change! 2022～ (T/K)